

◎本番で自己ベストを更新しよう！

共通テストまで残り30日となりました。まだやれることはたくさんありますから、最後まであきらめずベストを尽くしてください。この冬休み期間は全科目の学力レベルを上げる最後のチャンスです。貴重な残り時間を無駄にすることなく、将来に悔いを残さないよう、しっかり耐え抜きましょう。先生方も皆さんのことを応援しています。

共通テスト本番で自己ベストを更新するためには、残り30日を有効に使って、「学力」に加え「気力」と「体力」の3つの力のピークを、試験当日にしっかり合わせられるように調整することが必要です。

★**がんばれ**★
★**受験生!**★

①最後は総合点の勝負 英数国+理社強化

これまでの模試や授業・補習の「テスト演習」の問題をしっかり復習することが大切です。ポイントを確認しながら、再度解き直して弱点を強化しましょう。また、今後上昇の見込みの高い「理科・社会」の勉強量を増やし、総合点を上げることを目指しましょう。



②心身の健康管理に努める

ここからは、心と体の健康管理がかなり重要です。十分な睡眠と栄養を摂りましょう。特にコロナやインフルエンザ等の感染症予防を徹底しましょう。また、心が疲れた時は、無理せず一休みしてリフレッシュすることも大切です。誰かに話を聞いてもらうのもいいでしょう。

③休業中の昼夜逆転生活は絶対ダメ

共通テストの1時間目の開始時間は9時30分。つまり、朝から頭がフル回転になっていないといけません。冬休みは、昼夜逆転生活をしてはだめです。もとに戻すのにかなりの時間を要し、心身の健康管理にも多大な影響を与えるでしょう。生活リズムを試験時間に合わせましょう。

◎第3回大学入試分析会より

11月28日に河合塾主催の第3回大学入試情報分析報告会がありました。

今年度の入試の受験環境は、少子化と入学定員増により競争が緩和され、新課程入試前年で安全志向は広がってはいるものの、受験生は強気の姿勢で入試に向かっているという話でした。国公立大学は、共通テストの平均点にもよりますが、受験生は、前期は挑戦校を受験し、中期後期で安全校を受験する方向で考えているようです。私立大学は、共通テスト形式より一般入試の倍率が低いので、受験方式を考える時には、なるべく一般入試で

受験するようにしてください。なお、静岡県内の私立大学と女子大学は、昨年並みの倍率となり合格しやすい受験となるでしょう。

◎国公立大学入試の日程

○1月13日（土）14日（日）共通テスト



○1月15日（月）自己採点⇒採点結果を分析に出す⇒約3日で結果が届く。



出願検討面接週間⇒一般選抜の出願先（前期・中期・後期）を検討する。
共通テスト推薦を利用する生徒は、推薦願を提出する。



○1月19日（金）国公立大学検討会



一般選抜の出願先決定



○1月22日（月）から2月2日（金）一般選抜の出願期間
（全日程を同時に出願する。変更はできない）



○2月25日（日）から前期日程試験



○3月1日（月）から10日（日） **前期合格発表** すみやかに入学手続きをすること



前期日程不合格者はくじけずに後期（中期）日程に向かう！



○3月8日（金）から中期日程試験



○3月12日（火）から後期日程試験



○3月20日（水）から24日（日） **中期・後期合格発表** すみやかに入学手続きをすること



○ 受験大学が定員に満たなかった場合、28日以降に「追加合格」の連絡が来る！

